

2010.8.1

No.38

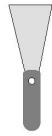
発行 町田市印刷工業組合



MACHIDA PRINT INDUSTRY

町田市印刷工業組合

事務局 町田市原町田4-18-16(協英印刷工業(株)内)



発行責任者 田中 健祐

「これからの印刷業・組合活動」

町田市印刷工業組合 組合長 田 中 健 祐

前年度は長年、組合活動に尽力頂いたアドバンスさん、高橋美術さん・和光印刷さんが退会されました。有難う御座いました。本年度になつてもアイ企画さんが6月一杯で退会され、シントーさんも7月で閉められます。組合の存続されることながら、業界そのものも新しいものを取り入れていかないと顧客に対応出来なくなりつつあります。

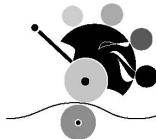
これから印刷業を発展させるには、顧客の事業の流れに積極的に参画して自社が受け持つ領域を拡大しなければならない。顧客の事業の流れは戦略策定→商品・サービス開発→生産→流通チャネル・業務インフラ構築→顧客開発→顧客維持→効果測定→戦略策定と循環する。顧客はこの循環の中でイノベーションを起こし、新しい商品、新しいサービスを創り出そうとしている。その顧客の事業の流れの全部門に情報メディアが関係し、IT技術が使われる。従って印刷業はどの部門にも参画できる可能性をもつていて、顧客が印刷物を製造するという部分を印刷会社に任せてくれたとしてもそれは事業の流れの中の一部でしかなく、そこでの付加価値はますます低い評価になっていく。

従って印刷業が単に紙の印刷物を製造するところに止まってしまうと、将来の発展は望めない。同じ紙の印刷物を製造するにしても顧客の事業の流れに参画して、デザイン、納期、コスト面で高い付加価値を生み出す必要があり印刷業は新たな変革・イノベーションに迫られているのである。

イノベーション(innovation)とは、物事の「新機軸」「新しい切り口」「新しい捉え方」「新しい活用法」(を創造する行為)のこと。だからこそ「広報誌研修会は」町田に「町田市印刷組合」という団体が存在し役に立つ組織としてPRできるチャンスだと思っております。結果、組合員のメリットの向上→会員の増強→新たな試みと良い循環していくことがこれからの使命だと思います。皆様の協力無しでは出来ない試みです。

厳しい中での取り組みですが、一つの目標に向かって頑張りましょう！

IMAGE
IDEA
SPEED
PRINT



第36回総会報告と 今後の活動を考える

総務部 藤井 陽一

第36回町田市印刷工業組合の定期総会は4月17日(土)午後6時より、千寿閣において開催されました。今回の総会では多数の退会がありましたので、出席者は13名(内2名は3月退会)でした。

総会では平成21年度の事業報告・会計報告があり、承認されました。

平成22年度は前記のように多数の退会者があり、組合員は11社に減りました。これでは今までのような専門部の役員をおくことが無理な状態ですので、役員は三役のみとし、専門部は役員を選任しませんでした。これまで毎月役員会が開かれておりましたが、それに代えて今年は組合員全員参加の定例会を毎月開き、その中で事業等を決定し実行していくことが決まりました。

長い間の印刷工業組合の活動も、更に印刷業界も存亡の危機にさらされております。その中でどのように活性化していけば良いのかを模索中です。組合員の皆様もそれぞれの立場から、いろいろの思いや考えをお持ちと思いますので、是非定例会に参加され、みんなで話し合ってみませんか。一人ではぼんやりとした形だったものが、大勢の意見の中で段々とはっきりした形になるというようなことはよくあることです。

今年は既に、市内小・中学校PTAの広報紙担当の方々に対して、印刷組合が編集の勉強会を開催してはどうかと、取り組みを始めています。

少しでも魅力のある組合にするために、また、少しでも働きがいのある職場にするために、みなさんのご協力をお願い致します。

印刷展と鳩山会館

平成21年10月9日(土) 中型バスを借り切って有明のビッグサイトに行き、まず印刷展を見学した。最新鋭の機械、どれを見ても感心し、説明はよく聞いてもその場を離れるとすぐ忘れての繰り返し。

今、中小印刷業界は非常に不況であるせいか、例年ほど混んでいなかったように思う。

どこまで進歩しているのか参考までに見学をし、小物でもほしい物があればと思っていたが今回はそれも無かった。

午後2時頃引き揚げて当時鳩山ブームで騒がれた鳩山会館に向かった。駐車場は無く道路にバスを止め結構ほかのバスも止まっていたので大目に見ているんだな~と思いながら、そこからダラダラと5~6分坂道を登る。すると立派な洋館が見えた。乗用車なら軽く通れる坂道、玄関先には屋根付のガレージがあり、大正時代鳩山一郎が建てたという。



中は幾つもの応接室や奥方用に畳の部屋やサンルームがあり、政治家達の集会所となっていたという。そしてこの頃から人間性を尊重する精神から「友愛」と言う言葉が生れたらしい。それが今に引き継がれたのか、由紀夫総理が民主党の合言葉として使われていた。息子である元外務大臣の鳩山威一郎まで住んでいたが、今は会館として3階の元寝室以外は開放している。サンルームの外には芝生敷きの中庭、そこには歴代3代までの銅像がある。よく映画やテレビに出てくるような仲間達が寄り集まってのパーティー等にピッタリ。そして場所は都心の文京区音羽町の小高い丘の上、我々一般庶民にはため息の出る羨望の高嶺の花である。

コピー用紙・印刷用紙・画用紙・和紙・封筒・ダンボール etc.

紙のことならおまかせ下さい。

紙卸

加工

●穴開け、断裁、ミシンetc. 各種商品加工も承ります！

株式会社 紙藤原

〒158-0097 東京都世田谷区用賀1-27-22

TEL 03(3700)4411

<http://www.kamifujiwara.co.jp>

お気軽にお電話ください。

(3)



summer 2010年 夏

副組合長 安倍 正浩

今年の夏は可能な限り「祭り」に足を運んでみたいと思っています。特に町田市内で催されるもの。でも、これがなかなか簡単ではないのです。お祭りも交通規制がかかるような大きなものから、地域の小さなものまで規模が様々。開催告知に決まりがないので、いつどこで開催されるのかが分からぬから足を運ぼうにも困ってしまうのです。

電信柱に貼られた小さな看板、神社前の掲示板、これらを頼りにするしかありません。

2年前「まちびと」の発行競争入札に際してのプレゼンに参加した折りにも「町田の祭り」をテーマにデモページを作成し提出するという課題がありました。この時は、福岡デザインさんに神輿の写真を提供してもらい、また郷土芸能保存協会の方にも写真を頂いたりしました。

町田に住みながら題材を
フォローするための私自
身の持つ素材の貧しさ
に大悔やしい思いを
しました。

自分で足を運び、
自分で写真を撮る。
もしかしたら、こ
のささやかな試み
が何年か後に生き
ることがあるかも知
ないと密かに期待して
おります。



安心してご利用いただけるサービスを……をモットーに！

◆◆印刷機・事務機・OA機◆◆

Aikoh

販売/サポートなら、当社へおまかせください。
URL <http://www.aikoh-jp.com>

株式会社 アイコー

〒243-0025 神奈川県厚木市上落合 463-3
Tel.046(228)2255 / Fax.046(228)4401

株式会社 アイコー神奈川

〒221-0841 神奈川県横浜市神奈川区松本町 5-36-10
Tel. 045-323-3534 / Fax. 045-323-3524

資源を活かし 文化を継承

(株)立川紙業

当社は、多摩地区を中心に隣接する埼玉県、山梨県、神奈川県の一部を主な営業エリアとし、地域密着の営業展開を行っています。

恵まれた市場環境で商売ができることが当社の一番の強みだと考えています。多摩地区は、都心から離れていることもあり、商売上でも土着性が強く、価格ももちろん重要視されていますが、それ以上に人間関係や過去からの実績を評価してお取引きしてくださるお客様が多い地域です。また、多摩地区の人口は400万人とも言われ、現在も増加を続けていますので、人口からいえば今後も紙需要の伸びが期待できますし、さらに、この地域には不況の影響を受けにくい大学や病院、また工場が多く、印刷需要や関連紙製品の深耕開拓の余地があります。

昨年9月に、アオイ製本という製本会社が当社の傘下に加わり、グループ内で製本業務も請け負うことが可能になりました。現在はこの製本加工の機能を最大限に活用した営業活動に注力しています。今後は、紙を配達した帰り便でアオイ製本で印刷物を受け取って配達するなど、物流合理化や物流面での顧客サービスの点でも相乗効果を生み出せると考えています。現在、厳しい事業環境化にありますが、見えていない、拾えていないだけでニーズは山のようにあり、智恵と工夫次第で取り組むことができると思います。

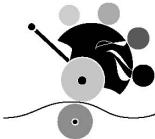
多摩地区で発生する印刷物の7割強は、都心や多摩地区以外の地域で印刷されていると見てます。その理由には、ITの普及によりインターネットや専用回線で印刷データがやりとりされるようになり、校正プロセスも含めて遠隔地での印刷が簡単になったこと、また、多摩地区にも力と特色を持った印刷会社さんが多数ありますので、地元で生じた印刷の仕事はなるべく地元で行われるよう当社としても働きかけていきたいと考えています。

URL <http://www.kami.jp/>

紙

株式会社 立川紙業

042(527)6111(代) FAX.042(528)0080
〒190-0023 立川市柴崎町2-7-6
配送センター ◆ 042(560)2311



いまの フィリピンは

12

生 越 昭 夫

マニラに着くと現地の日本人ガイドが迎えに来てくれた。「何のオプションもして無いから何とかしてください」。だが悪いことに到着日は丁度日曜日で現地の観光会社は全部休み、「では専用ガイドを付けましょう」日本語しかわからないので現地の日本語ガイドを希望。

フィリピンと言えばなんと言ってもマルコス大統領。悪者扱いにされ世界を賑わせたことで有名。町の中はビルの谷間にスラム街、派手な色の乗合自動車（冷房のないトラックの改造）や自転車改造の三輪タクシー。

いま若者の60%が職がなくて失業中だと言う。フィリピンは日本と同じで何の資源も無くマルコスは外国に若者などを積極的に出稼ぎに出していた。その家族に対する仕送りなどで国もかなり潤っていた。税金などで国もマルコスの腰も肥やしてしまい、エメルダ婦人の1000足の靴でも有名だが、今になってはマルコスの時代の方が経済的に良かったと言う。

日本軍がアメリカ人やフィリピン人の捕虜を閉じ込めていた地下牢のある要塞（中は暗く、雨が降れば水浸し）とか、マラカニアン宮殿（大統領の官邸）が見たくて行って見た。昔は一般開放をしていてが今はアロヨ大統領が住んでいる門には警備兵がいて、カメラを向けると「ダメダメ」と手を振る。タクシーの運転手もガイドもおよびごし、私はあんまり日本人の平和ほけの感覚で危険を感じなかつたが本当は怖かったのだろうか？

このタクシーを拾うのにもなかなか拾えないのでアルバイトで三輪車の客待ちをしている若者に呼んでもらつた。チップ20ペソ（60円）タクシーも日本人だけだと相当遠回りしたり辺鄙な怖い所に連れて行かれて、ボラれるらしい。

ホテルのレストランに食事に行くと、ポツポツ居る、日本人の旦那とフィリピン人の奥さん、またその家族とか、やはり里帰りをしても家に泊まれずホテルに泊まっているんだろうと思う。ホテルには和食レストランもあった。空いていたがいかにもあちらの人が日本のハッピを着て寿司を握り、あちらの女性が和服を着て接待、メニューは

日本語とローマ字、味は日本の醤油でマアマア。

夜はホテルのカジノに行ってみる、日本人はあまり居なかつたが中国人らしき人たちが多かつた。日本には無いラスベガスと同じゲーム機があった。日本のパチンコ感覚で遊ぶがやっぱりラスベガスと比べると盛り上がりが無い、すぐボラれる。（マカオの方がまだ遊ばせてくれる）

翌朝8時頃観光に出かけるとホテルの裏側の方から黒い煙が上がっている。観光が終わって夕方5時、まだ煙が上がっている、スラム街が火事だったらしい。この年はマニラは大変な水不足。おまけにスラム街の火事では消防車も通らないが、一掃する為にわざと消さない事もあるらしい。

スラム街



一人で歩いていると馴れ馴れしく握手を求めてくる者、子どもが赤ちゃんを抱っこして物乞いしてくる女の子、信号の無い交差点では2輪、3輪、乗用車、トラックなど、どちらか先に入った者勝ち、人々はその間をねって渡る。こんなところで車の運転は絶対したくない。

その後、景気のいいときのドバイに若者が結構出稼ぎに行っていたらしいが、ドバイも含め、世界的不況で首を切られ、またまた失業者が増えている。日本どころではない。

田舎の家

